

廃棄衣類繊維を原料とした繊維リサイクルボード「PANECO®」が、MDF生産設備による世界初の量産試験に成功しました。

<https://paneco.tokyo>

株式会社ワークスタジオ
モリリン株式会社
ホクシン株式会社

株式会社ワークスタジオ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：原 和広）が開発し、モリリン株式会社（本社：愛知県一宮市、代表取締役社長：森 俊輔）が販売する、廃棄衣類繊維を原料とした繊維リサイクルボード「PANECO®」は、MDF製造メーカーであるホクシン株式会社（本社：大阪府岸和田市、代表取締役：高橋英明）の技術協力のもと、MDF（中密度繊維板）製造ラインを使用した繊維リサイクルボード「PANECO® board」の量産試験に、世界で初めて※成功しました。

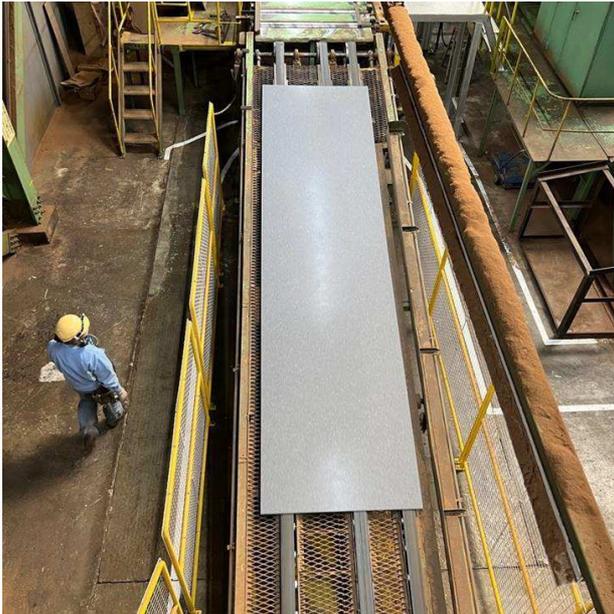
※1 自社調べ（2023年6月）

※2 国内外の学術論文にて「MDF製造設備を用いた衣類ボードの製造」として



※量産試験によって製造された「PANECO® board V」

「PANECO® board V」は、木質繊維板のMDFと同様に、廃棄衣類繊維を熱硬化によってボード化した（特許技術）繊維リサイクルボード「PANECO® board」の、本格的な社会実装を目的として開発された量産化バージョンです。



※量産試験中の「PANECO® board V」

MDF製造ラインを使用し、廃棄衣類繊維をリサイクルボードとして量産化するのには世界で初めての試みとなります。今回の「PANECO® board V」の量産試験の成功は、ファッション産業や繊維産業のサーキュラーエコノミーを大きく先進させる可能性を持つとして、さまざまな業界から注目を集めています。

現在、地球環境に配慮した取り組みとして、「サステナビリティ」「SDGs」といったワードに多くの人が関心を持っているなかで、私たちが抱えている大きな問題のひとつが「ファッションロス（英：Fashion Waste）」です。



※2022年10月の展示会の様子

ファッションロスとは、使用・未使用に関わらず大量に衣類が廃棄されてしまう問題で、世界で年間約1億トンものファッションロスがあるとされており、その多くが焼却処分されることで、大量の温室効果ガスの排出にもつながっています。

そうした背景のなかで開発が進められてきた「PANECO® board」は、アパレル企業などの繊維産業から回収した廃棄衣類や製造工程で発生する端材などを原料とすることで、ファッションロスの解決に大きく貢献することはもちろん、さらにはプロダクトとして利用された後に再度回収することで、水平リサイクルによる廃棄を極力出すことのない、新たな循環システムを構築することが可能です。



「PANECO®サーキュラーMAP」

そして、繊維リサイクルボード「PANECO®」は、今後はもっと大きな問題とされている、フードロスにも向き合っていくことを目標としています。

ファッションロス（衣）、フードロス（食）を再資源化し、「PANECO® board」などのマテリアルとして社会（住）に戻すことで、今後は『衣・食・住』の新たなサーキュラーエコノミーを実現していきます。

私たちが暮らす地球環境に、さまざまなカタチで配慮していくことが求められている昨今、繊維リサイクルボード「PANECO®」の新たな取り組みと挑戦は、今後もさらに続きます。

PANECO®

official site | <https://paneco.tokyo/>

instagram | https://www.instagram.com/paneco_official/

PANECO® board V

開発：株式会社ワークスタジオ

<https://workstudio.co.jp>

販売：モリリン株式会社

<https://www.moririn.co.jp>

製造：ホクシン株式会社

<https://www.hokushinmdf.jp>

お問い合わせ

<https://paneco.tokyo/contact/>